

西丸震哉記念館利用案内

2020年6月19日開館に際して

西丸震哉記念館では2008年度開館以来地元の方々に広く公開するために、西丸先生の意向も有り無料公開の立場でした。2017年度からは入館料を企画展資料などと合わせ500円いただき、コーヒー好きの方には、西丸先生の愛好された大音楽家BW バッハにちなんだ東京山谷にある自家焙煎珈琲屋バッハのコーヒーを選んでもらい提供しています。2008年開館と重なる西丸先生の新刊『壊れゆく日本』で、喚起された鳥インフルエンザ・感染症の系譜といえる新感染症による事態を受

けて、御入館いただく方には、ハンドジェルによる消毒、当館側ではドアノブ・スリッパ・手すりなどをアルコール消毒してお迎えします。

企画展展示資料としては西丸先生該当書籍の内容をお渡しします。常設展示を見ていただき、記念館での地域研究の成果ともいえる屋外展示を周回していただければ、御質問・CAFE利用（入館料付コーヒー含む）については、西丸館固定電話（0261-22-1436）からのお声掛けでも対応いたします。従前の正面入口よりの御入館をお待ちしています。

開館時間 10:00~16:30

休館日 火,水,木,12月~3月は冬期休館

入館料 500円（バッハコーヒー又は企画展示資料、A・Bなどの資料付）なお、カフェ利用者、大人同伴のとき中学生以下無料

B: 原始感覚美術祭 (主に2013~2015年分)

美術好きのかたには、西丸震哉氏に由来する原始感覚美術祭記録集（2013年度長野県発元気づくり大賞）を選択していただきます。



A: 西丸式サバイバル・アウトドア生活

西丸震哉氏の著作リストを見ると、サバイバル・アウトドア関連の著作が下に示すように多数ある。下の著作などからの知恵をパネル、実物、写真などを含め企画展で紹介しています。



常設展示案内

- 一階 : 西丸文庫（全著作）、線画（西丸震哉作）
トロブリアンド島の腰蓑、櫛、寶貝の腕輪
背負い袋、貝の標本（パプア・ニューギニア）
蛇使いの笛、水壺、水パイプ（インド）
石のコレクション、母の仏像（西丸震哉作）
ペンギンオブジェ（西丸震哉作）
人跡未踏の湿原（撮影 佐々木啓真）
- 二階 : 食人族の頭蓋骨、極楽鳥の羽根、弓矢、石斧
トカゲの剥製、オウムの剥製、お面、珊瑚
太鼓、ブッコロシ棒（パプア・ニューギニア）
蝶の標本（台湾、ペルー、パプア・ニューギニア）
マサイ族の人形（アフリカ）
インカの白い染料の布（ペルー）等
- 階段室 : 西丸震哉日本百山、山の油絵（西丸震哉作）
インド、台湾、パプア・ニューギニアの写真
- 地下 : レイクサイドギャラリー、スキー板、山刀
ピッケル、ピク、鎌、ゴーグル、活版印刷機



原始社会への探検調査

西丸震哉記念館常設展示案内

おもに原始社会への探検調査での収集品

2008年5月、西丸先生のオープン講演を経て、おもに先生の原始社会の探検調査、台湾の脊梁山脈踏査(1959~60年)、インドデカン高原中心とした学術調査(1961~62年)、パプア・ニューギニアの原始人の味覚調査(1968年当時、食人習慣が残存)、アンデス・インカ時代の遺

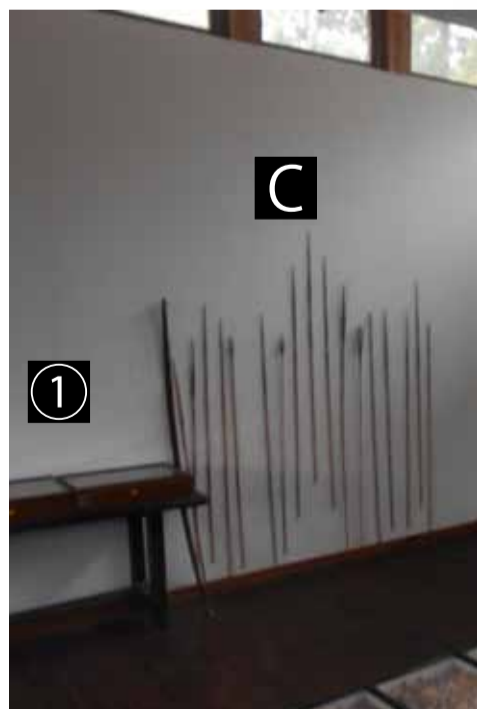
跡、東アフリカなどでの収集品を2階展示室を中心に展示しています。2009・2019年の企画展『西丸震哉の蝶の世界ー記憶のアルバム』では、個人の標本ながら、代表的な亜種を網羅する世界のチョウ標本の蒐集品として学術的にも貴重であることを確認しています。

2階展示案内

- ①~⑦世界のチョウの収集品
 - ⑧企画展資料・関連書籍
- 【ソファでコーヒーを飲みながら資料をご覧ください】

原始社会への探検調査での収集品

- A**パプアニューギニア原始生活者の磨製石斧
- B**ブッコロシ棒(石器着柄) 食人族も使用の弓矢
- C**食人族も使用の弓矢



西丸震哉記念館 2020 年度企画展

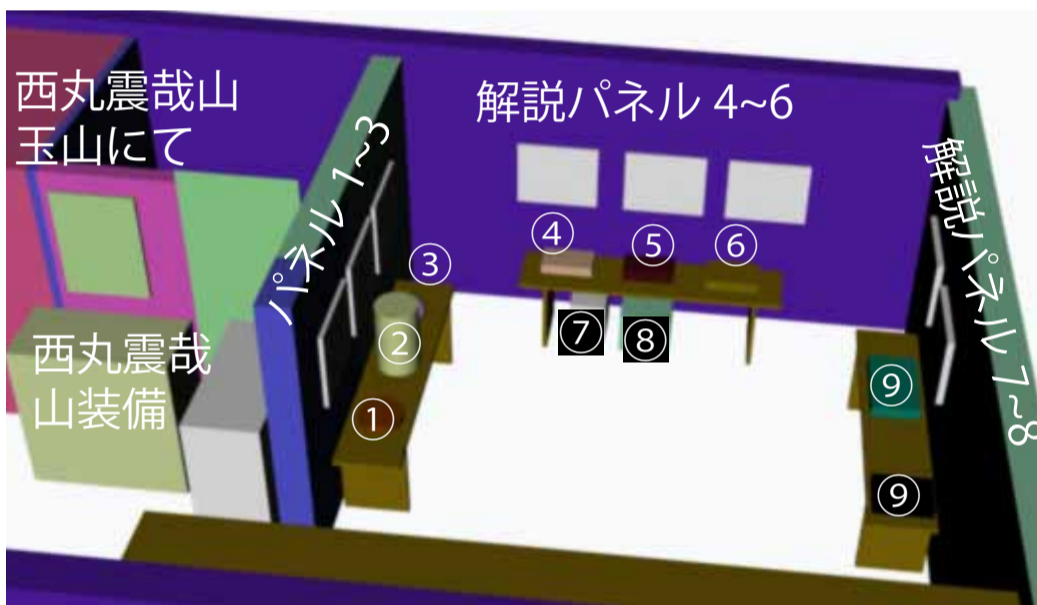
西丸式サバイバル・アウトドア生活

会期：2020年6月19日（土）から翌年度まで

本年度5月連休前にスタートする予定が6月末近くになったため、例年連休に来館いただける方々にもご覧いただけるように翌年度までの期間設定としました。ツリーハウスでは、ロープでの安全な木のぼりや懸

垂下降訓練など実践的な要素を重視した取組みをすすめ、長期の企画展を充実したものとする予定です。貯蔵所・野外施設の改良からサバイバル・アウトドア生活をより楽しみなものとしたいと考えています。

地階展示案内



① 2009年秋産リンゴの保存

② 食糧危機にそなえた、1970年代後半からの砂糖貯蔵ポット

③ 加工用に半割したオニグルミ

④ 保存期間の長い食品例

⑤ ロープの結び方I (テグス結び) ~ X (8の字結び)

⑥ 原始感覚美術祭における堅穴式住居

⑦ 貯蔵所の日本酒と古酒

⑧ 貯蔵所で長期保存可能なオニグルミ

⑨ ツリーハウスと木のぼりクライミング

⑩ クロモジで楊枝やナイフを作る【実習できます】



1階展示案内

サバイバル時の手作り石斧の提案に対して、2階の常設展示にはパプア・ニューギニア原始生活の磨製石斧の他に、縄文時代中期（5千年前）や中期旧石器時代（8万6千年前）の石器が出土しており、資料とともに、まとめて展示してあります。



2階展示案内

常設展示の原始社会への探検調査の収集品

の他に、企画展資料や関連書籍【ソファでコーヒーを飲みながら資料をご覧ください】



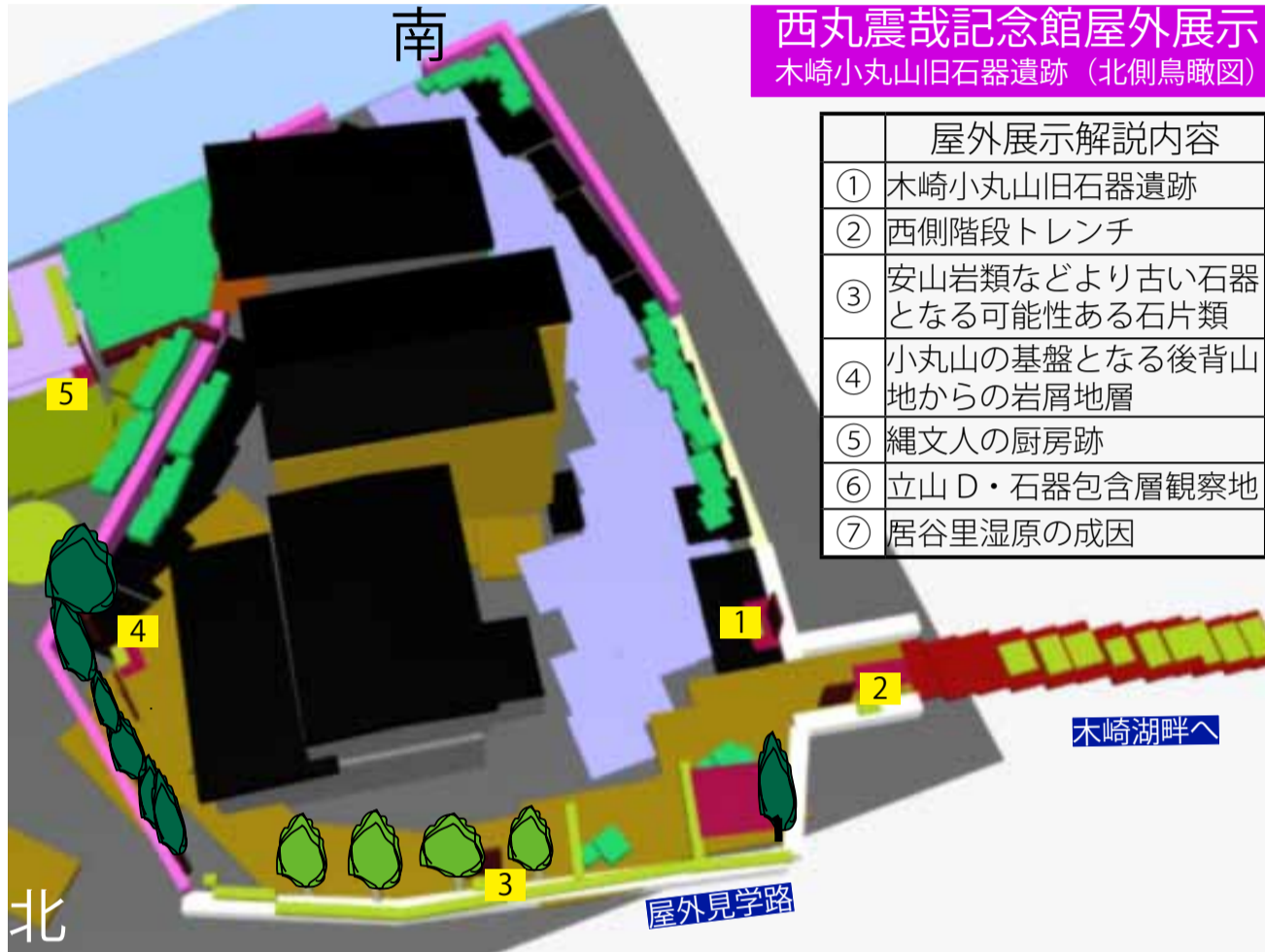
正面入口階段最下段整備時に最新出土の怪しい剥片太郎山？安山岩製

野外施設



西丸震哉記念館野外展示・カフェ利用案内

西丸震哉記念館の屋外展示のメインは、長野県最古、東日本最古級の木崎小丸山旧石器遺跡（8.6万年前）で、鳥瞰図上の①になります。その場所ではハンドアックスや使用痕のある剥片や台石が発掘されました。②や⑥では遺跡の古さの根拠となる9万8千年前の火山灰（立山D）の地層も観察でき、③ではその噴火でもたらされた安山岩類などのより古い石器となる可能性ある石片類を検討しています。④では



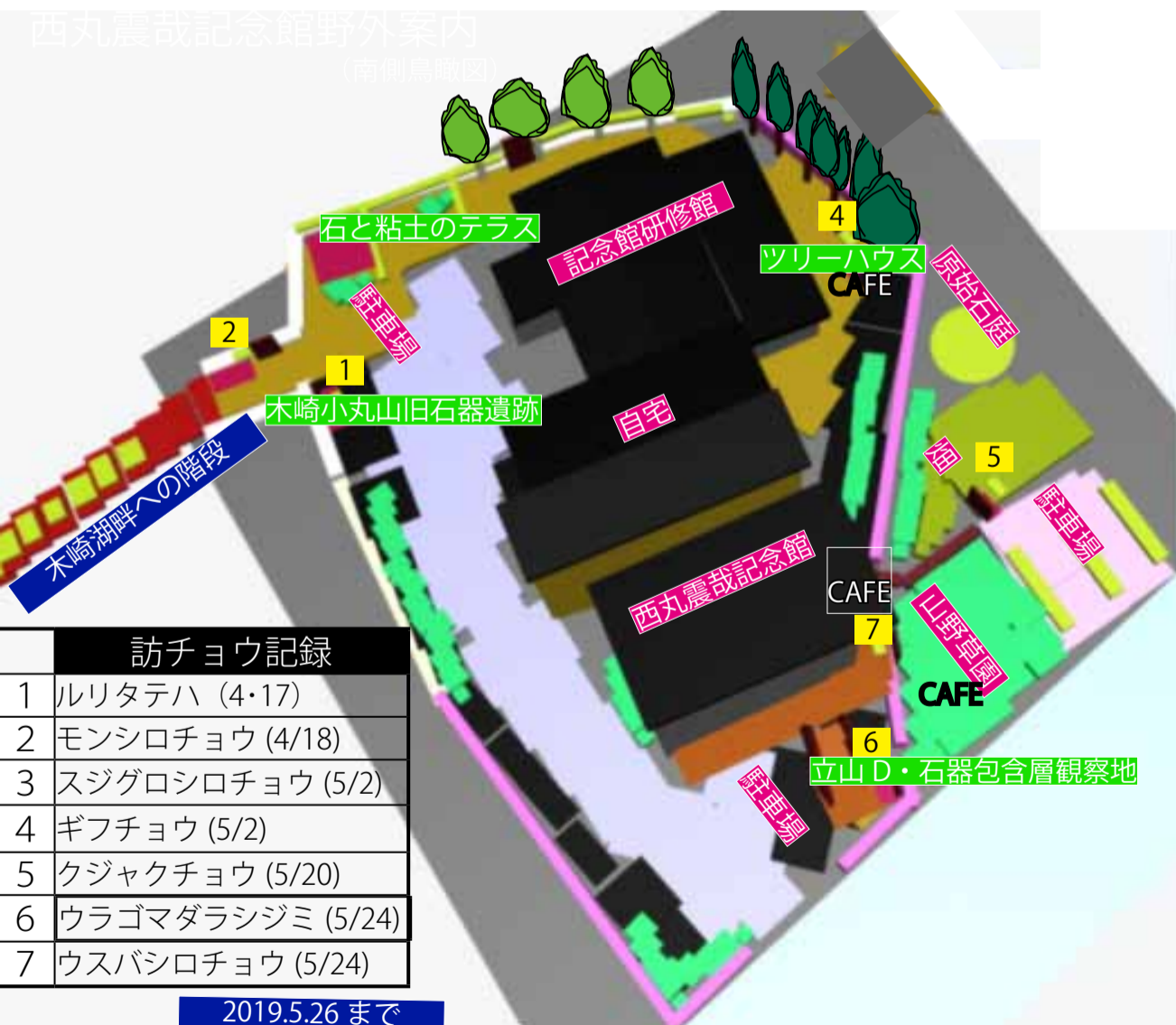
立山Dの降灰前の小丸山の基盤となる後背山地からの岩屑地層を観察できます。⑤では小丸山は縄文人にとっても住みやすく、5,100年前の縄文中期の暮らしぶりを想像させてくれます。⑦は氷河時代の堆積物から居谷里湿原の基盤となる地層の存在とその成り立ちを解説しています。

【野外施設】

山野草園などでは、フクジュソウ・カタクリ・イワウチワ・シラネアオイ・クルマバソウ・イカリソウ・オダマキ・ミスチドリ・フウロソウ・ヤマユリ・フヨウなど40種類以上の草花に、多くの蝶も訪れます。

石と粘土のテラスでは旧石器人の時代に残った炭化物を含む生活面に思いをよせながらジンギスカン（土日限定要予約）を楽しめます。

ツリーハウスは2020年



訪チョウ記録	
1	ルリタテハ (4・17)
2	モンシロチョウ (4/18)
3	スジグロシロチョウ (5/2)
4	ギフチョウ (5/2)
5	クジャクチョウ (5/20)
6	ウラゴマダラシジミ (5/24)
7	ウスバシロチョウ (5/24)

2019.5.26まで

度企画展にちなんだ懸垂下降などの練習用施設で、石と粘土のテラスも含め野外生活の実験施設となります。CAFE印の場所テーブルなどでは、オニグルミブラウネ付バツハコーヒー（500円）を直接固定電話（0261-22-1436）で注文いただけます。